

令和7年度の北海道事業所及び東京事業所における処理の見通し

1. 概要

JESC05 事業所のうち、すでに北九州、大阪、豊田の3事業所では処理を終了している（いずれも令和6年3月に終了）。残る2事業所である東京及び北海道の事業所においても、令和7年度に JESCO による高濃度 PCB 廃棄物処理事業がすべて終了する。これらを踏まえ、来年度の見通しを本資料で示す。

令和7年度は、残る2事業所である東京及び北海道の事業所の未処理物及び令和7年度分として推計される処理量のすべてを処理する計画とし、すべての処理事業を終了させる。

2. 北海道事業所における令和7年度の処理の見通し

北海道事業所は、表1のとおり、北海道事業所における登録・未処理物、北海道事業エリア分の処理の推計量に加え、北九州、大阪、豊田の3事業エリアから登録される推計量も含めた合計量を処理する見通しとした。

この推計値は、事業終了準備期間（令和5年4月から現時点（令和7年2月。3月は終わっていないため、実績値として採用し得る直近の月））の23か月の登録・処理実績の数値を踏まえ、令和7年度の登録期間である北海道・東京事業エリア6.5か月、北九州・大阪・豊田事業エリア5か月の間に、同ペースで登録されるものと見込んで算定した。さらに、令和5年度に北九州・大阪・豊田各事業所において直前の駆け込みの登録が増加したことを踏まえ、北海道・東京事業エリアの推計量には、さらに安全率（1.2）をかけて推計した。

なお、PCB 処理達成率については、これまでの北海道事業での対応に合わせ、北海道での高濃度 PCB 廃棄物のみを対象とし、北九州・大阪・豊田事業エリアで新たに発見されたものは別に扱う。

表1 北海道事業所における令和7年度における処理量の合計見通し

種 類	登録済・未処理	北海道事業エリア分の処理の推計量 R. 7. 4～R7. 10 ^{※1}	北九州・大阪・豊田事業エリア分の処理の推計量 R. 7. 4～R7. 8 ^{※2}	令和7年度処理量（推計）合計
変圧器類	3 台	4 台	1 台	8 台
コンデンサ類	385 台 ^{※3}	97 台	149 台	631 台
PCB 油	2,894kg (94 本)	0 kg	780kg (40 本)	3,674kg (134 本)
安定器等・汚染物	124t (西日本分 29 t を含む)	33t ^{※5}	21t	178t

※1：北海道事業エリア実績値から計算した推計量であり、さらに直前の駆け込み登録も勘案し、1.2の安全率も乗じて計算した。小数点第1位を四捨五入。

- ※2：北九州・大阪・豊田事業エリアの推計量であり、小数点第1位四捨五入した。
- ※3：約半数（170台）が10kg未満の小型コンデンサーであり、全体の約6割を大企業3社の休眠中の倉庫等から発見されたコンデンサーが占める。
- ※5：東京事業エリアの安定器等・汚染物を含む。

3. 東京事業所における令和7年度の処理の見通し

東京事業所における処理見通しについても、北海道事業所における推計と同様に、これまでの登録・未処理の量と東京事業エリア推計量を合計した量をすべて処理する見通しとした。

具体的には、事業終了準備期間（令和5年4月から現時点（令和7年2月。3月は終わっていないため、実績値として採用し得る直近の月））の23か月の登録・処理実績の数値を踏まえ、令和7年度の登録期間である北海道・東京事業エリア6.5か月の間に、同ペースで登録されるものと見込んで推定量を算定した。さらに、令和5年度に北九州・大阪・豊田各事業所において直前の駆け込みの登録が増加したことを踏まえ、北海道・東京事業エリアの推計量には、さらに安全率（1.2）をかけて推計した。

表2 東京事業所における令和7年度における処理量の合計見通し

	登録済・未処理	東京事業エリア推計量 R. 7.4～R7.10	令和7年度処理量 (推計) 合計
変圧器類	0台	1台	1台
コンデンサー類	0台	128台	128台
PCB油	0本	1,896kg（16本）	1,580kg（16本）
安定器等・汚染物	（北海道で処理）	-	-

4. 両事業所における令和7年度の処理量推計の考え方

事業終了準備期間（令和5年4月から現時点（令和7年2月。3月は終わっていないため、実績値として採用し得る直近の月））の23か月の登録・処理実績の数値から、1か月当たりの処理推計量を計算。令和7年度の登録期間である北海道・東京事業エリア6.5か月、北九州・大阪・豊田事業エリア5か月の間に、同ペースで登録されるものと見込んで算定した。

さらに、令和5年度に北九州・大阪・豊田各事業所において直前の駆け込みの登録が増加したことを踏まえ、来年度に事業が終了する北海道・東京事業エリアの推計量には、さらに安全率（1.2）をかけて推計した。

(1) 東京・北海道事業エリア合算

	R5.4～R7.2（実績）	R.7.4～R7.10（推計）※
変圧器類	13 台	5 台
コンデンサー類	739 台	251 台
PCB 油	5,590kg（48 本）	1,896kg（17 本）
安定器等・汚染物	101t	34.25t

※安全率 1.2 の計算後の値。

(1)1) 北海道事業エリア

汚染物の種類\	R5.4～R7.2（実績）	R.7.4～R7.10（推計）※
変圧器類	9 台	4 台
コンデンサー類	287 台	97 台
PCB 油	0 kg	0 kg
安定器等・汚染物	99t	33t

※安全率 1.2 の計算後の値。

(1)2) 東京事業エリア

汚染物の種類\	R5.4～R7.2（実績）	R.7.4～R7.10（推計）※
変圧器類	4 台	1 台
コンデンサー類	454 台	154 台
PCB 油	5,590kg（48 本）	1,896kg（16 本）

※安全率 1.2 の計算後の値。

(2) 北九州・大阪・豊田事業エリア

汚染物の種類\	R5.4～R7.2（実績）	R.7.4～R7.8（推計）
変圧器類	4 台	1 台
コンデンサー類	687 台	149 台
PCB 油	3,588kg（184 本）	780kg（40 本）
安定器等・汚染物	97t	21t

(3) JESCO 北海道における登録済、未搬入状況

汚染物の種類\	変圧器	コンデンサー	PCB 油・保管容器	安定器・汚染物等
北海道事業エリア	0 台	22 台	0 kg	95t
北九州・大阪・豊田事業エリア	3 台	363 台	2,908kg（94 本）	29t

※北海道事業エリアの安定器・汚染物等には 1 都 3 県含む。